

こおりまち

議会だより

平成29年夏号 VOL. 109



国民健康保険税0.3%アップ... ②

6月定例会

東京オリ・パラに献上桃の提供を
(一般質問・10名登壇)..... ④

委員会報告 ⑮

議会研修報告 ⑳

— 釀芳幼稚園「たなばた祭り」—

P17に関連記事が

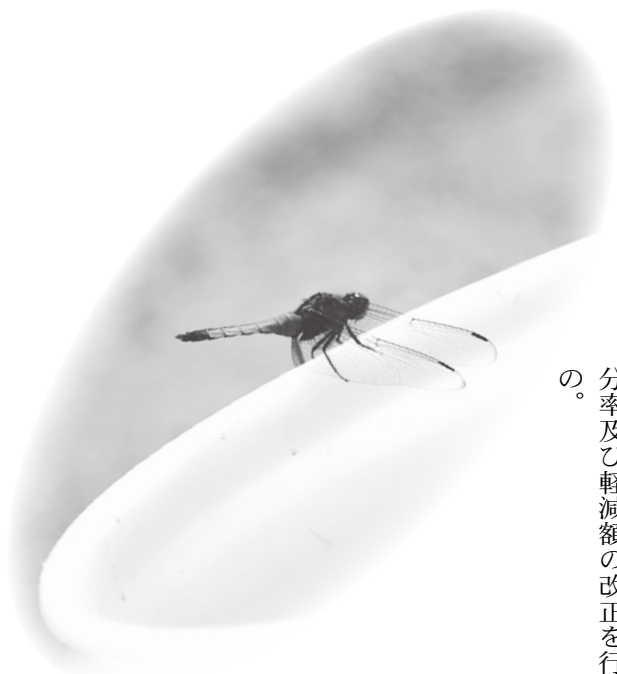
6月定例会

平成29年第3回定例会は、6月20日から26日まで7日間の会期で開催された。提出された議案は、条例改正1件、補正予算2件、報告4件、同意12件、陳情1件、議会より発委1件、発議2件計23件で、一部を除き可決した。

条例改正

保険料0.3%
349円アップに

町国民健康保険条例の一部改正
平成28年中の総所得金額及び平成29年度固定資産税等が確定したことに伴い、国民健康保険税の算定に用いる所得割等の按分率及び軽減額の改正を行うもの。



平成29年度 国民健康保険税のあん分率表

あん分率	所得割	医療給付費分	前年度対比	高齢者医療支援金分	前年度対比	介護納付金分	前年度対比
		資産割	6.45%	0.14%	2.06%	0.36%	2.25%
均等割(被保険者1人あたり)	均等割	18.80%	△5.93%	6.05%	△0.79%	9.69%	△3.53%
	平等割(1世帯あたり)	23,100円	600円	7,500円	1,200円	9,700円	△300円
	平等割(特定世帯)	19,500円	200円	6,300円	700円	(1世帯あたり) 5,300円	△600円
7割軽減	均等割(被保険者1人あたり)	14,625円	△150円	4,725円	525円		
	平等割(1世帯あたり)	16,170円	420円	5,250円	840円	6,790円	△210円
	平等割(特定世帯)	13,650円	△140円	4,410円	490円	(1世帯あたり) 3,710円	△420円
5割軽減	均等割(被保険者1人あたり)	6,825円	△70円	2,205円	245円		
	平等割(1世帯あたり)	10,238円	△105円	3,308円	368円		
	平等割(特定世帯)	11,550円	300円	3,750円	600円	4,850円	△150円
2割軽減	均等割(被保険者1人あたり)	9,750円	△100円	3,150円	350円	(1世帯あたり) 2,650円	△300円
	平等割(1世帯あたり)	4,875円	△50円	1,575円	175円		
	平等割(特定世帯)	7,313円	△75円	2,363円	263円		
均等割(被保険者1人あたり)	均等割	4,620円	120円	1,500円	240円	1,940円	△60円
	平等割(1世帯あたり)	3,900円	△40円	1,260円	140円	(1世帯あたり) 1,060円	△120円
	平等割(特定世帯)	1,950円	△20円	630円	70円		
		2,925円	△30円	945円	105円		

補正予算

桑折テニスコート全面張替

一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ7,941万円を追加し、予算総額を53億742万2千円とするもの。

《歳入の主なもの》

- ・国庫支出金 100万円
- ・地方創生推進交付金
- ・県支出金 269万3千円
- ・除染対策事業交付金
- ・繰入金 50万円
- ・文教施設建設基金繰入金
- ・ふるさと振興基金繰入金 1,615万6千円
- ・がんばるふるさと・桑折応援基金繰入金 141万円
- ・繰越金

(次ページへ続く)

前年度繰越金

- ・諸収入 3,386万3千円
- ・雑収入 34万円
- ・スポーツ振興くじ助成金 1,894万6千円

町債

幼稚園施設整備事業債 450万円

《歳出の主なもの》

- ・総務費 1,200万円
- ・庁舎建設測量分筆業務 1,200万円
- ・農林水産業費 41万円
- ・イノシシ用檻5台 41万円
- ・半田沼、西根堰ストックマネジメント事業 1,513万6千円
- ・農林水産業費
- ・里山林整備モデル事業 500万円
- ・商工費 200万円
- ・西根堰ウォーキング大会協賛金 200万円
- ・教育費 500万円
- ・醸芳幼稚園舎改修工事再入札 500万円
- ・教育費 3,400万円
- ・桑折テニスコート人工芝改修工事 3,400万円

国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ32万2千円を追加し、予算総額を15億8,477万5千円とするもの。

《歳入》

- ・国民健康保険税 ▲3,000万円
- ・国庫支出金 32万2千円
- ・繰入金 3,000万円

《歳出》

- ・一般管理費 32万2千円
- ・電子計算機処理委託

同意

町固定資産評価審査委員会委員の選任

地方税法の規定で議会の同意が求められた。9月30日任期満了となるため次の者を選任した。

- | 住所 | 氏名 |
|--------------|------------|
| 万正寺字弁天水口番の11 | 本望 裕一 (再任) |
| 昭和26年7月1日生 | |
| 万正寺字弁天水10番の5 | 鈴木 敏弘 (新任) |
| 昭和30年4月3日生 | |

陳情審査結果

陳情とは

町民の皆さんの意見や要望等、町政に反映させる制度です。

※陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせ下さい。

(電話)582-2113

農業委員会委員の任命

農業委員会等に関する法律の規定により議会の同意が求められ、新たに次の委員10名を任命することに同意した。

氏名	住所	生年月日
佐藤 親	下郡字遠上 9-1	昭和41年11月29日
小野 策七	谷地字道窪 19	昭和24年11月7日
浅尾日出夫	松原字東前 22	昭和21年2月3日
浅尾 国英	成田字堰下 2	昭和32年1月29日
安永 吉克	字落合 60	昭和35年7月3日
朽木 直博	字西町 73	昭和15年10月19日
佐藤 徳雄	字北町 16	昭和25年1月25日
古川 清	北半田字畑中 10	昭和51年12月5日
後藤 益男	伊達崎字館下 31-1	昭和27年8月15日
朽木 泰男	上郡字根岸前 19-4	昭和24年6月16日

「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」提出を求める陳情書

(陳情者)

福島県福島市上浜町10-38
福島県教職員組合

中央執行委員長 角田 政志
福島県伊達市保原町字旭町32
福島県教職員組合伊達支部

支部長 酒井 克幸

(審査委員会)
総務文教常任委員会

(審査の結果)
採択(意見書提出)：P26へ掲載





渡邊英直議員

東京オリ・パラに献上桃の提供を 関係団体とともに早期取得へ



— 献上桃もオリンピックに参加させるぞ —

「福島GAPチャレンジ宣言」が行われ福島県農産物の安全・安心を確保し、また風評の払拭を図るためにもGAPの取得を推進するとともに「献上桃の郷こおり」の桃をはじめとする農産物を東京オリンピック・パラリンピックに提供できることを見さだめて次の点を伺う。

問 GAP認証の意義とメリツトは何か。

答 町長 農産物の安全性の客観的評価、品質の向上、産地間競争の強化、農業経営の改善や効率化、消費者の信頼確保が期待できる。

問 個別認証と団体認証があるがどちらを推進するか。

答 農業団体にあつては、団体認証を得る方針であることから、スムーズに認証が得られる支援をする。

問 認証に向け、農業団体・行政・県の連携を今後どのように進めるか。

答 県、農業団体、行政と連絡会等を組織し、指導員の育成、確保の支援など、早期取得に向けて取り組む。

問 認証取得に向けての周知は、農業団体が主体的に取り組むものであるが、町も協力していく。

どしどし鳥獣被害ゼロにする策は 緩衝帯整備に補正予算を計上

イノシシ被害低減をはかるため侵入防止柵の設置は完了したが、今後の鳥獣被害ゼロを目指す取り組みが求められる。

問 柵の内側の被害にどのような対応するのか。

答 町長 有害鳥獣対策実施隊の協力を得て捕獲に努める。また、檻罠の購入費を追加計上した。

問 里山林整備事業の充実を図るべきことは。

答 侵入防止柵と緩衝帯を一体化することで侵入防止効果を一層向上させるため延長5,000mの補正予算を計上した。

問 放任果樹園、耕作放棄地のエサ場や隠れ場所の解消が必要ではないか。

答 関係機関と協力して農業者に対してその解消に向けて協議を進める。

これも質問

問 国道4号IC周辺の開発は

答 土地利用転換の可能性を確認

問 機能別消防団の活動強化は

答 消防団を補完する組織として期待

問 29年のトップセールスの予定は

答 首都圏や仙台圏を中心にPRを実施

一般質問

がっぴ 町政を問う 60分

- 一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- 内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- 質問項目は、通告によるものです。
- 一般質問の様子は桑折町議会のホームページ(録画)でご覧いただけます。

10名登壇

登壇議員	質問項目
渡邊英直	<ul style="list-style-type: none"> ・「献上桃の郷こおり」GAP取得の推進について ・有害鳥獣被害ゼロを目指す取り組みについて ・国道4号IC周辺の開発について ・機能別消防団の活動強化について ・今年のトップセールス活動について
川名静子	<ul style="list-style-type: none"> ・「桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況に関して ・職員の健康管理に関して ・高齢者の足の確保に関して ・クラウド・ゴルフ練習場の確保に関して ・生涯学習のさらなる推進に関して ・町の歴史を守り継ぐ政策に関して ・禁煙防止対策推進に関して
佐藤武朗	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住の取り組みについて ・国道4号インターチェンジ周辺の計画推進状況について ・西山城跡地の整備計画について ・高齢者健康維持に対する取り組みについて ・役場庁舎建設と跡地の利活用について
佐藤榮三	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興活動拠点整備事業の進捗状況について ・地域資源を活かした「6次化商品」開発への取り組みについて
原賢志	<ul style="list-style-type: none"> ・旧伊達崎幼稚園の改装スケジュールと委託事業について ・歴史的風致維持向上計画について
半澤高	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設について ・現庁舎跡地の利活用について ・中心市街地活性化等について ・ラスパイレス指数改善の抜本的対策について
齋藤松夫	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵全線設置に続く新たな有害鳥獣対策について ・「桑折町再生可能エネルギー推進計画」(平成29年3月策定)について ・うぶかの郷用既設源泉(大かや園源泉)調査検討業務(産ヶ沢右岸)報告書について ・公営住宅のあり方及び桑折町長寿命化計画策定報告書(平成29年3月策定)について ・庁舎建設基本構想(平成29年3月策定)及び建設位置選定について
岩崎久男	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊員の将来に重大な影響を与える「憲法改正問題」について ・「21世紀追分推進プロジェクト」について ・都市計画法第34条11号について ・国保の都道府県化について
斉藤謙	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画等に関して ・自転車購入時に保険加入を義務付ける条例制定に関して ・全国学力テストの結果等に関して ・2025年問題等に関して ・仮称国道4号IC周辺の整備計画等に関して ・財政運営等に関して
羽根田八千代	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策に万全を期すべきことについて ・学校給食の減塩対策について ・高齢者支援・福祉タクシー利用券給付について ・インバウンドによる地域活性化について ・「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」について



佐藤 武朗 議員

移住・定住の専属相談窓口は 政策推進課が総合的な案内



— 移住・定住 ひきうけた！ —

本町の人口ビジョンは、2035年に1万人を下回る推計結果。積極的に移住・定住への取り組みを行っている自治体もあり、体系的な取り組みが必要。

問 移住・定住の促進をどのように推進していくか伺う。

答 町長 町の魅力発信、既存企業との連携や企業誘致による雇用確保、教育や子育て支援の充実、居住環境の整備等、複合的に連携させ、促進に取り組んでおり、新たに若者定住促進事業を導入した。

問 移住・定住の専属相談窓口や係の設置は。

答 今年度から政策推進課が総合的な案内と情報発信、全庁一体的に移住・定住の促進に取り組む。

問 移住・定住者の確保にむけた年次目標は。

答 平成33年度に若者世代の定住率を64%に、若者・移住者のマイホーム取得助成件数を累計50件程度にする。

これも 質問

問 西山城跡の整備中の来訪者対応は

答 本丸城址碑に「散策マップ」を準備

問 IC周辺の開発年次スケジュールは

答 総合計画の予定にそって、鋭意事業を進める

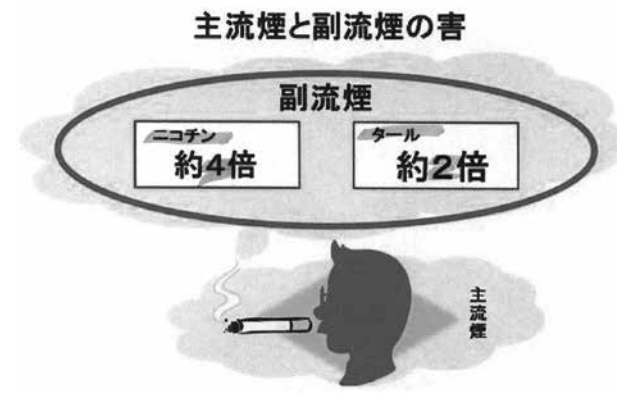
問 現庁舎跡地の利用計画を早期に方針を

答 定住人口増加の視点で検討する



川名 静子 議員

禁煙の手本はまず町長から 1日の本数を減らす努力を



— 健康は自らの努力も必要では —

くたばこの煙から子供たちを守ろう」と「世界禁煙デー」が制定。特に副流煙の害が大きい。健康を守る婦人連盟は「学びと実践健康長寿は家庭から」をスローガンに掲げ、活動している。本町のこおり健康プランに示された目標を達成するために、

問 喫煙率減少の具体策は。

答 町長 各種健診時や保健指導時、母子手帳交付時にも喫煙指導を。

問 公務員がまず禁煙の模範に、

電子タバコの使用もあるのでは。

答 役場等庁舎内では建物内は禁煙、教育施設では敷地内禁煙を行うなど受動喫煙防止対策に基づき適切な対策を行っている。

問 煙から子どもを守る喫煙防止教育の推進についての周知は

答 乳幼児健診時や中学生の思春期体験講座時にも、喫煙が及ぼす健康リスクの指導も。

女性達の働き方へ理解はあるか 町内事業所へセミナーを実施

総合戦略、人口ビジョンの進捗について伺う。

問 アンケートから町を離れる理由の第一位が「働く場がない」。これに対する策は。

答 有効求人倍率は1倍を上回っている。既存企業と緊密な連携、新たな企業誘致等へ取り組む。

問 若者・子育て世帯への低廉な家賃設定による町営住宅を提案する計画は。

答 雇用促進住宅が活用できなかった。事業の具現化に向けて検討する。

問 企業等へ「働き方改革」特に子育て中の人達の理解ある就労時間等をどのように促進したか。

答 町内事業所へ町主催の関連セミナーへの参加を呼びかけ実施した。

問 不妊治療は大方40歳前後の方が利用。年収730万円の基準を上げなければ利用が不可だ。考えは。

答 基準はあくまで県の対象要件に基づいている。町独自の助成も追加した。

問 ※GG愛好者たちの練習はどこで

答 「あぶくま水辺の学校」の事業等から模索する ※グラウンド・ゴルフの略

問 4地区公民館長は誰がどうやって決めるのか

答 各地区住民自治協議会と協議しながら進める

問 国道は素通り、「桑折宿」の誘導標識で町中へ

答 必要性を含め検討していく

健康寿命延伸の取り組みは

「いきいきサポートセンター」開設

医療技術等の進歩で平均寿命が延び、老年人口比率も約35%。高齢者は家族や身内に心配をかけるない、元気でありたいと願うもの。

問 健康寿命延伸策はどのような取り組みされているか。

答 町長 高齢者やシニア世代を対象に介護予防や介護重症化予防に取り組んできた。今年度から「桑折いきいきサポートセンター」を開設。イコーゼでは、生活習慣病予防教室、大かや園等では「いきいき百歳体操」を実施。

問 健康寿命延伸策はどのような取り組みされているか。

答 健康維持のための有効な手段。老人クラブ連合会における町長杯ボウリング大会等、体育協会等を通じて各種団体における高齢者のスポーツ支援に努めている。

問 医療技術等の進歩で平均寿命が延び、老年人口比率も約35%。高齢者は家族や身内に心配をかけるない、元気でありたいと願うもの。

問 高年齢者が積極的にスポーツを通し、健康維持を図っている各種団体がある。団体等の実態把握、行政としての支援策は。

答 健康維持のための有効な手段。老人クラブ連合会における町長杯ボウリング大会等、体育協会等を通じて各種団体における高齢者のスポーツ支援に努めている。



原 賢志 議員

西山城跡及び周辺整備の内容は 整備内容・計画の再検討が必要



— 29年度盛土を行う西山常城本丸 —

問 スケジュールされた各年度における、史跡桑折西山城跡整備事業及び西山城跡周辺整備事業の具体的事業内容を伺う。

答 町長 28年度から着手しており、30年度までに樹木の伐採と遺構保護の盛土工事、31年度までには本丸の中心建物の平面表示、西館の枳形状虎口等の復元工事を、32年度までにはガイダンス施設や駐車場、案内表示を整備する予定である。城跡整備事業の進捗に合わせて、来訪者の駐車整備やアクセス道

路改修等の周辺整備を進めるが、大型バスへの対応は難しい。整備スケジュールの見直しや事業内容の再検討が必要であり、専門家委員会の皆さんと協議の必要がある。伊達朝宗墓所の周辺整備については整備の必要性は認識しているが、内容・時期等については更に検討を要する。

旧伊達崎幼稚園の利用開始時期は 来春オープン新たな商品も開発中

問 旧伊達崎幼稚園舎及び敷地の改装スケジュールと桑折町振興公社への具体的委託内容・事業開始時期を伺う。

答 町長 施設の基本コンセプトは、①6次化推進拠点、②「食」と「農」の学びと交流の拠点、③豊かな農作物を味わう「食」の拠点としての魅力発信基地である。レストラン等のソフト面を担う振興公社や調理師学校講師等の意見を聞きながら、ハード面を町が整備していく。公社の意見を盛り込んだ実施設計を決定し工事に着手し来年4月のオープンを目指していく。

現在、桃を活かした新たな6次化商品を、全国的に有名な菓子メーカーとご当地商品として今秋を目途に開発中である。メーカーとしては、当初40万個位を東日本で販売していきたいとのことである。



佐藤 榮三 議員

農業振興活動拠点整備事業の進捗は オープンは桃の開花時期に合わせ4月とする

伊達崎幼稚園跡地利用の「農業振興活動拠点事業」について3月定例会答弁では今秋オープンをめざすとのことだったが、伊達崎地区住民や多くの町民が関心を持って見守っている。そこで本事業について伺う。

問 農家レストラン、農産物直売所について概要等の説明は。

答 町長 農業振興活動拠点については現在実施設計を進めており施設の概要が固まり次第速やかに説明会を開催する。

問 農業レストランの運営従事者の選定は。

答 桑折町振興公社に管理運営委託、公社に於いて今後募集を予定する。将来桑折町で起業を目指す若者や食や料理に興味の有る若者などを中心に料理専門家や子育て世代の女性達等を交えた企画運営の仕組みを整えていく。

問 施設運営に対して地区住民への協力要請等があるものか。

答 施設運営については「食」と「農」を通じた交流拠点としての機能を継続的に発揮するため地区住民はもとより町民の皆様のご理解ご協力をいただきたい。



— 体制を強化するため新たに事務所を開設 —

問 今後の6次化商品については桑折町の地域資源を活かした商品開発を両農協部会や商工会など、関係団体と連携し進めて行く。女性を中心とした運営や多くの皆様の6次化商品の開発研究に農業振興活動拠点施設を利用して欲しいとのことだが。

答 町長 振興公社において開発に着手した。

問 関係団体等との協議の状況は。

答 振興公社と共に関係機関等との連絡調整に努め原材料の調達には地元農産物の活用を図る様に取り組んでいく。

6次化商品開発への取り組みは 開発を振興公社に委託し進めている



齋藤松夫議員

新庁舎位置は蚕糸跡とすべきでは 総合的判断から醸中跡地と決定



— 無残に荒らされたジャガイモ畑
柵の内側にあるイノシシの仕業 —

問 「まちづくり」及び「町保有地有効活用」の観点からすれば、新庁舎は福島蚕糸跡地とし、4号線とのアクセスが良い醸中跡地は、地域振興のための活用を図るという判断をすべきだったのではないかと。また、建設位置についてこそアンケートをとるべきだったのではないかと。

答 町長 蚕糸跡地は国庫補助金返還が生じること、仮設住宅解消時期が不明であること、創設された「市町村役場機能緊急保全事業」の期限が平成32年までであることなどを検討委員会に示し、総合的判断から醸中跡地が適地であるとの意見書をいただき決定した。アンケートについてはこのような決定経過をふまえ、自由記載欄でご意見をいただくようにしたところである。

問 「まちづくり」及び「町保有地有効活用」の観点からすれば、新庁舎は福島蚕糸跡地とし、4号線とのアクセスが良い醸中跡地は、地域振興のための活用を図るという判断をすべきだったのではないかと。また、建設位置についてこそアンケートをとるべきだったのではないかと。

5月臨時会で「有害鳥獣対策に万全を期すべき事を求める決議」が採択された。これにどう対処する考えか伺う。

答 町長 侵入防止効果を発揮させるため、今議会に5,000メートルの緩衝帯設置予算を計上した。また柵内側のイノシシ捕獲のために、檻罠5個分の予算も追加計上した。今後の対策は、関係住民と良く協議を行いながら万全を期してまいりたい。

有害鳥獣対策・議会決議への対応は 関係住民と協議重ね対処

これも質問

問 大かや園源泉利用調査報告内容に疑問あり
答 再調査をする

問 うぶかの郷の加温設備に木質燃料検討は
答 さらに調査研究を継続

問 坂下町営住宅新規募集しない方針に異議あり
答 空き棟数3戸のうち2戸は募集

どの段階に



半澤高議員

商店街活性化・賑わいの創出は 関係団体の事業を支援する



— 賑わいはどうする? —

今後の商店街活性化等について次の点を伺う。
問 (1)新庁舎の移転先が旧醸中跡地となり商店街から離れるが、今後の商店街の活性化策や賑わいの創出策は。
答 町長 (1)町商工会や金融機関等と連携した取り組みを継続し、今後とも関係団体が実施する活性化事業について支援していく。

(2)ふれあい公園に今秋屋外ステージが完成し、今後多くのイベントが開催されることになると考えるが、イベント参加者の中心市街地への回遊について。
答 (2)町商工会や各商店会等と協議し、誘導策を検討していく。

基本計画の進捗状況は 7月初旬に素案を固める

新庁舎建設に関して次の点を伺う。
問 (1)基本計画策定の進捗状況は。
答 町長 (1)議会役場庁舎建設調査特別委員会での説明の後、7月初旬までには素案を固め、町民に対してパブリックコメント及び説明会を実施する。
問 (2)新庁舎建設やプール撤去工事における近隣への配慮は。
答 (2)近隣住民に周知することはもとより、工事内容に応じて説明会を開催する。施工業者に對しても配慮するよう指導する。

これも質問

問 現庁舎跡地の利活用は
答 広く町民の声を聴き検討

問 ラスパイレス指数の抜本的改善策は
答 職員労働組合と協議を進めている



斉藤 謙 議員

医療費抑制のカギは「特定健診率アップ」 特定健診率アップに地域連携を図る



— メタボ予防は健康の源
継続は力だよ —

問 2025年問題に関して、2025年には団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者となるので、医療給付費等の経費が激増予測であるが、将来の医療費抑制のカギは「メタボの解消・予防」にあるといわれ「特定健診率」「特定保健指導実施率」向上が大きな課題になる。厚労省の調査結果では、メタボと判定された人の年間医療費は、他の人と比較して平均9万円高く、医療費抑制効果はメタボ解消で最大約9、600億円の医療費削減、更にメタボ予防で最大約8、800億円の医療費抑制と試算

されている。当町では「特定健診」受診率向上等をどのように進めていくのか。
答 町長 本町では老年人口が2020年をピークに減少に転じるが、高齢化率はその後も増加予測されるので、更なる「特定健診率向上」を図るために、地域の理解・支援を得ながら、連携した取組みに努めたい。

これも質問

問 公共施設等管理にライフサイクルコストを
答 今後20年間で改修費用約20億円
問 自転車購入時に保険加入義務条例を
答 条例化は行わず、注意喚起を行う
問 IC周辺開発許可取得の飛地購入検討
答 県内でも他市町地を購入事例があり研究



岩崎 久男 議員

憲法9条は日本の宝では 現憲法の理念に基づいて実施



— 憲法守る思いをこめた「九条たんぼ」
睦合 ふれあい会館前 —

問 (1)安倍首相は憲法施行70年の節目に当たる今年5月3日、2020年に新しい憲法が施行される年と表明したが、憲法9条に自衛隊の存在を書き込むなどその政治姿勢があまりにもひどすぎる。憲法の尊重擁護義務がある首相が期限を区切って改憲を提唱すること自体が問題である。国会で質問されると「読売新聞」を熟読して欲しい発言をするなど、議会政治さえ否定するもので民主主義の国では考えられない暴言だ。国の根幹を定める憲法について多数の国民の理解を得ようとする姿勢は全く見られない。地方自治体の首

長として、どのような認識でいるか所見を伺う。
答 町長 (1)憲法のあり方については、まさに我が国の基本的な枠組みや進むべき道に関わることで、社会情勢や国際社会での日本の役割を踏まえ、国政レベルで幅広く丁寧に議論すべきと考えている。「基本的人権の尊重」など現憲法の理念に基づいて、町政運営を実施しており今後ともその方針を変更する考えはありません。

これも質問

問 国道4号IC周辺の打開策は
答 土地利用転換の可能性を確認
問 都市計画法第34条11号は
答 各町内会と連携し協議を進める

純借金残高率がアップ傾向にある 新公会計制度等の職員研修を実施する

問 決算カードを分析すると、今後懸念されることは、普通建設事業費が震災後急激に増加し、経常収支比率、財政の硬直化は改善されず、特定財源(補助金)を活用しても、地方債、物件費等の経費増加になる。特に借金により実質債務残高比率(純借金残高)、実質的将来財政負担額比率は目安とされている数値にはほど遠くなっている。今後、新庁舎建設や農業拠点整

備等、各種の事業計画をされているが、これらの分析を行い財政計画との整合性を持った取組みを行うべきでないか。
答 町長 新地方公会計制度導入に伴い、職員研修等を実施し、各種指標の分析力向上を図っていく。また、中期財政計画を総合計画の実施計画に併せて、町民に公表を予定している。

一人あたりの国保税額は 29年度前年度より349円増

平成30年から国保運営を都道府県と市町村が運営することになり次の点を伺う。
問 町の国保世帯数、加入者は。
答 町長 平成29年4月末現在1,867世帯3,109人だ。
問 一人あたりの28年度国保税額はいくらか。29年度の国保税額は。
答 平成28年の一人あたり国保税額111,268円で、29年度は111,617円だ。



羽根田八千代 議員

高齢者福祉タクシー券具体策は 75歳以上の世帯にも申請により給付



— 安心して出かける楽しみが —

29年度、交通手段の確保が難しい高齢者支援・福祉タクシーの利用拡充は、対象となる町民にとって待ちに待った施策のひとつだ。既に免許返納者4件、75歳以上の人のみで構成されている世帯申請14件である。(6/6現在)この支援策について次の点を伺う。

問 (1)町民への周知が遅れては
いないか。

答 (2)周知が遅れた分だけ申請
が遅れ、給付券枚数に影響が発

生する。このような状況に対す
る解決策はあるか。

答 町長 (1)周知が5月後半
となったので経過措置として6
月30日申請まで6,500円分
のタクシー券交付とする。

問 75歳以上の課税世帯の基準
日は、「75歳の誕生日とする」等
より町民に寄り添う検討を。

答 検討する。

「ソルベ」販路拡大は ANAラウンジや大手デパ地下へ

問 桑折町のキーワード(献上
桃の郷)登録商標の使用基準要
綱の作成は。

答 厳粛なルールのもと速やか
に作成する。

問 ソルベを多くの町民に食し
て頂けるような策は。また町内
取扱店増により収入が増えれば
所得UPとなり、ひいてはブラ
ンド力・町税UPに繋がるので
は。

答 今まではPR期間であった
が、町内取扱店舗の拡大に努め
るほか、ANAのラウンジや機
内、大手デパ地下へ業務用提供
も行的、ブランド力や利益にも
つなげる。

問 緩衝帯設置は15km全線予算化を

答 まず、5,000mを10カ所の地区で

問 GAPの次はG1と就農支援を

答 町内外から後継者育成に努める

問 学校給食の減塩対策を

答 献立と提供は適切。食育に力を

※G1とは「地理的表示保護制度」
農林水産省は、G1制度導入により、生産業者の利
益の保護を図ると同時に、農林水産業や関連産業の
発展、需要者の利益を図るよう取組を進めている。

委員会報告

総務文教常任委員会

委員長 原 賢志

現在、当委員会は次の3点に
ついて所管事務調査を行ってい
る。

- ・公正・公平・適正な入札のた
めの「入札制度について」
- ・本町における入札参加資格審
査や等級別格付基準の評点方法
等について、近隣市町の現状把
握をしながら調査を行っている。
- ・健全な財政運営のための「健

全財政について」

本町における財務内容につい
て、行政改革の取組状況や決算
カード、類似団体比較カードを
基に調査を行っている。

- ・移住・定住を促進するための
「移住・定住について」
- ・尚、調査結果については、9
月定例会での報告を予定してい
る。

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

- 1. 調査事件
当委員会は、閉会中に行っ
てきた所管事務調査のうち次の点
について調査報告を行った。
- 2. 調査目的
道水路等の整備状況と計画に
ついて
- 3. 調査経過(略)
- 4. 調査結果

(1)道水路等に関して

道路総延長は約300kmあり、
全ての改良、維持管理には限界。
厳しい財政状況の中、いかにイ
ンフラ整備を図るかが今後の課
題である。①スーパリーやなみ事
業は、平成22年度より、事業件

数54件、道路3,999m、水
路891mの実績。参加者の高
齢化、女性の参加等、人員の確
保に課題はあるが、継続して取
り組み、さらに、予算の増額に
努めるべき。②地域共同で行う
「多面的機能支払交付金事業の
取り組み拡大を図ることにより、
一層の環境整備が図れる。③町
道の老朽化が進むなか、「町民
の安全な生活環境確保」のため
には、年度毎に変動のない一定
額の予算措置を。また、要望に
応えられる計画的な維持管理に
努めるべき。

(2)橋梁に関して

本町の全橋梁163カ所の点
検は今年度で完了。東北自動車
道に架かる橋の老朽化が進み維
持管理に多額な費用がかかるこ
とから、次の点に努めるべき。

- ①全く利用されていない橋梁は
地域住民と十分な協議に努める
べき。
- ②予算確保も含め、先進
事例等を参考に橋梁撤去に向け
検討に努めるべき。

議会改革活性化調査特別委員会

委員長 羽根田 八千代

- 3月定例会閉会后、3回の特
別委員会を開催し、①情報公開
②住民参加、③議会機能強化の
観点で、現状認識及び今後の課
題について次のように協議した。
- ①情報公開充実策
- ・HPの充実と速報性(活動状
況の一週間以内UP)
- ・議会だより速報発行や事務体
制強化等検討

- ②住民参加と意見聴取策
- ・町民会議の充実と傍聴しやす
い環境整備
- ・アンケート実施や議会モニ
ター制度の検討
- ・議会報告会及び意見交換会の
年2回実施。また開催内容の
検討(町内会単位・日時・対
象者やテーマ別・全議員・班
編成等。)

役場庁舎建設調査特別委員会

委員長 原 賢志

本委員会の調査経過は次の通
りです。

- 第1回(3月16日)
委員長、副委員長を選出。
- 第2回(3月23日)
「新庁舎建設基本構想(案)」に
ついて説明を受け質疑を行った。
- 第3回(3月28日)
「新庁舎建設基本構想(案)」に
ついて、議員間討議を実施した。
- 第4回(4月13日)
決定された「新庁舎建設基本

- 第5回(6月29日)
「新庁舎建設基本計画(素案)」
について説明を受け、質疑を
行った。今後、石川町役場を視
察し、7月14日に再度質疑を
実施することとした。

石川町役場を視察(7月5日)

反対多数で否決

森友学園・加計学園問題の真相解明を求める意見書(案)

討論

反対 佐藤武朗 議員

内容については一部理解できるところはありますが、国レベルでしっかりと調査していただくことは勿論ですが、地方の町議会として意見書を提出することについては反対いたします。

賛成 齋藤松夫 議員

次の3つの理由で賛成である。
1、今日の情勢に照らし、誠に時宜になつたものである。
2、国民世論、住民の声に照らし、妥当且つ適切なものである。
3、行政をチエックするのが議会の使命である。この問題で事の真相解明を求めて意見書を提出するのは、この議会の使命と

提出者 岩崎久男 議員
相通するものである。

これに背を向けることはチエック機能を果たしていけるのかどうかの疑問をもたれる結果を招くこととなるであろう。

賛成議員
渡邊 英直、岩崎久男
齋藤 松夫、原 賢志

反対議員
佐藤 武朗、齋藤 謙
佐藤 榮三、川名 静子
半澤 高、羽根田八千代

共謀罪法案(改正組織的犯罪処罰法)異例採決に抗議する決議(案)

討論

反対 佐藤武朗 議員

共謀罪法案に関しては反対するものではありません。ここに至るまでの経緯については若干問題があった。国際社会において、日本はまだまだテロに対する遅れがあり、早めに整備し、国民の安全には必要であり、この決議を提出することに反対します。

賛成 原 賢志 議員

共謀罪の成立に関して異議を唱えるものではない。しかしながら成立に至る過程において異例な手続きによって採決されたことは問題である。地方議会においても同様であり、地方議会人として認めるわけにはいかない。そうした理由から賛成の立場をとるものである。

賛成 渡邊英直 議員

共謀罪法そのものにも、まだまだ問題点があると考え。十分な審議を尽くさず、異例な手続きにより採択されたことに対し抗議する決議であることから賛成する。

賛成 齋藤松夫 議員

次の3つの理由で賛成である。

反対 羽根田八千代 議員

決議の意図するところは理解

するものです。しかし、法案採決手順においては、国会において積み重ねられた議論の過程を踏まれたものと確信するものがあります。国会の委員会内部の経過をしっかりとした情報収集出来ぬ中、不十分な情報の中で地方議会が議論するのはいかかか。よってこの決議には反対します。

賛成議員
渡邊 英直、岩崎久男
齋藤 松夫、原 賢志
反対議員
佐藤 武朗、齋藤 謙
佐藤 榮三、川名 静子
半澤 高、羽根田八千代

臨時会

第2回、5/23(火)

条例制定1件、条例改正4件、工事請負契約1件、補正予算1件が提出され原案通り可決した。

条例制定

日曜はクラブ会員へ開放

桑折いきいきサポートセンター設置条例

高齢者をはじめとする町民の健康増進と福祉の向上を図るために設置。社会福祉法人等へ貸与し管理運営を。

条例改正

町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴うもの。

平成30年3月31日まで 財政支援が延長

町税特別措置条例の一部改正
企業立地等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の減免措置。財政支

援の期間が1年延長になるもの。

東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正

東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部改正

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う「避難指示区域等における被保険者」の国民健康保険税及び介護保険料の減免措置に対し、国の財政支援の期間が1年延長によるもの。

工事請負契約

若者交流拠点施設整備事業(屋根付屋外ステージ整備事業)

・契約の目的
町若者交流拠点整備事業工事
・契約金額 5,994万円
(うち消費税及び地方消費税 444万円)
・契約の方法
設計・施工一括発注型プロポーザルによる随意契約
・契約の相手方
宮城県仙台市青葉区上杉5丁目3番36号

補正予算

振興公社事務所を旧JA事務所跡へ移す



こんなステージが(イメージ) 渋川 智

一般会計(第1号)
歳入歳出予算の総額に、3,080万円を追加し、予算総額を52億2,803万2千円とするもの。

《歳入》
・国庫支出金 1,340万円
・県支出金 387万9千円
・繰入金 1,352万8千円
《歳出》
・広報費 600万円
・ふるさとづくり事業費 1,963万3千円
・健康増進事業費 517万4千円

決議

有害鳥獣侵入防止柵の町内全線設置をより効果的上がる事業とするため、全会一致で決議し町へ提出した。

有害鳥獣対策に万全を期すべきことを求める決議

昨年、本議会が求めた有害鳥獣侵入防止柵は、平成28年度において町内全線にわたって設置された。これは有害鳥獣対策を大きく前進させるものとなった。しかも特別交付税措置により、一般財源負担を軽減したことも評価するところである。しかし、この侵入防止柵の効果を万全なものとするためには、引き続き下記の実現方を提言するものである。有害鳥獣対策は、地方創生・若者定住対策の重要な一環でもある。よって昨年同様、当局の積極的対応を期待するものである。

- 記
- 有害鳥獣侵入防止柵設置区間内には、道路等をはじめ、イノシシ等の侵入を許す場所が多数存在する。この対策なくしては侵入防止柵設置の効果は半減する。よって全国各地の先進事例を参考に、道路等からの侵入防止のための効果的措置を講ずること。
 - 同侵入防止柵沿線に緩衝帯を設置すること。
 - 侵入防止柵設置内(里側)に生息しているイノシシの繁殖を防ぐためにも、設置内の早期駆除の対策を講ずること。
 - 里山再生事業への本格的取り組みは、喫緊の課題となっている。よって現在進捗中の「森林再生事業」の計画変更も視野に入れ、同事業推進のための検討に着手すること。
 - 熊の錯誤捕獲による人的被害の根絶措置を講ずること。

以上決議する。

平成29年5月23日

桑折町議会

Cover Photo



7月7日、醸芳幼稚園で「たなばたの会」がありました。年少、年中、年長がそれぞれ練習の成果を発表しました。「願いごと」が1つでも多くかかいますように!

議会報告会 & 意見交換会 開催 4/27

今回の議会報告会は新総合計画・29年度事業の説明と町民の皆様との意見交換会はテーマを役場新庁舎建設等について、会場を一ヶ所に絞り開催しました。夜間にもかかわらず80名近くの方々にお出でいただき、意義ある意見交換会となりました。

頂戴しましたご意見・アンケートは、今後の議会・議員活動の中で活かしていきます。ありがとうございました。下記に要約したご意見を掲載しました。

- 半田**
 - ・ 郡役所を拠点とし活用して欲しい。
 - ・ 役場に商店街の維持や後継者支援を担当する課があっても良い。
 - ・ 公共事業で使用するものは町内から仕入れて欲しい。
 - ・ 屋外ステージに6千万円を使うなら役場跡地を「町中広場」に。
- 桑折**
 - ・ 農業振興にギャップ導入が必要と思うがJA・伊達果実での進行状況はどうなっているか。
 - 伊達崎**
 - ・ 旧伊達崎幼稚園舎に6千万円かけ今秋オープン予定だが、人材確保、併せて振興公社の準備状況はどうか。
 - ・ 役場担当課が変わったり、個人情報やで話にならない。
 - ・ 多面的支払交付金制度は中身が複雑で混乱している。早目の検討を。また、高齢化に伴い農地の貸し手はいるが借り手がない。改善すべきだ。
 - ・ 先日の大風の時、議員は何をしていたか、誰一人こなかった。
 - 伊達崎**
 - ・ 新総合計画に移ったが前計画の進捗率はいくらか。また、積み残しを今後何年かけるのか。
 - 桑折**
 - ・ 役場庁舎建設予算が心配だ。「町債」には利子も付くし我々の借金になる。
 - ・ 庁舎建設積立に1億5千万円。行政サービスの低下が心配だ。
 - 桑折**
 - ・ 20・30代の参加者がいない。世代を超え話し合う場を作って欲しい。
 - 伊達崎**
 - ・ 災害時のFM放送のアンテナを常設して欲しい。



町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人桑折町振興公社

資料提出後、不備が見つかったため今定例会での議案は取下げられた。

土地開発公社桑折町事務所

事業の概況

平成28年度は、災害公営住宅関連道路用地の処分等を行った。また、公共用地等の取得、造成、管理、処分等に附帯する業務として、保有地の貸付事業を行った。なお、平成19年度において、工業団地売却により損失が生じたが、町からの補填により借入金返済の実施している。

項目	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
1 事業収益				
(1)公有地取得事業収益	14,779,696	118,934,028	△ 104,154,332	△ 87.6%
2 事業原価	14,779,696	118,934,028	△ 104,154,332	△ 87.6%
事業総利益	0	0	0	0.0%
3 販売費及び一般管理費	15,559	20,360	△ 4,801	△ 23.6%
事業損失	15,559	20,360	△ 4,801	△ 23.6%
事業外収益	3,430,245	2,825,386	604,859	21.4%
4 (1)受取利息	2,808	7,726	△ 4,918	△ 63.7%
(2)雑収益	3,427,437	2,817,660	609,777	21.6%
事業外費用				
(1)支払利息	3,179,000	3,699,106	△ 520,106	△ 14.1%
経常利益	235,686	△ 894,080	829,766	92.8%
6 特別損失	0	0	0	0.0%
当期純利益	235,686	△ 894,080	829,766	92.8%
当期利益	235,686	△ 894,080	829,766	92.8%

	収入				支出		
	平成29年度	平成28年度	増減額		平成29年度	平成28年度	増減額
事業収益	0	20,800	△ 20,800	事業原価	0	20,800	△ 20,800
事業外収益	3,153	3,433	△ 280	販売費・一般管理費	31	31	0
特別利益	0	0	0	事業外費用	2,669	3,179	△ 510
				特別損失	0	0	0
				予備費	0	0	0
収入合計	3,153	24,233	△ 21,080	支出合計	2,700	24,010	△ 21,310
				(収益的収入支出差引額)	(223)	(453)	△ 230

議案審議結果表

○賛否の分かれた議案

議案項目	議員名											可否	
	渡邊英直	岩崎久男	佐藤武朗	齊藤謙	齋藤松夫	川名静子	原賢志	半澤高	羽根全代	片平秀雄	可		
発議第4号 森友学園・加計学園問題の真相解明を求める意見書(案)	○	○	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	否
発議第5号 共謀罪法案(改正組織的犯罪処罰法)異例採決に抗議する決議(案)	○	○	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	否

○：賛成 ●：反対 □：討論者

○全会一致で可決の議案

第2回臨時会			第3回定例会		
議案名	討論者		報告名	討論者	
議案第23号 桑折いきいきサポートセンター設置条例			報告第1号 平成28年度桑折町繰越明許費繰越計算書		
議案第24号 桑折町税条例の一部を改正する条例			報告第2号 平成28年度桑折町水道事業会計予算繰越計算書		
議案第25号 桑折町税特別措置条例の一部を改正する条例			同意第1～2号 桑折町固定資産評価審査委員会委員の選任について		
議案第26号 東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例			同意第3～12号 桑折町農業委員会委員の任命について		
議案第27号 東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例			報告第4号 町が出資を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について(平成28年度福島地方土地開発公社桑折町事務所事業報告等)		
議案第28号 桑折町若者交流拠点施設整備事業(屋根付屋外ステージ整備事業)工事請負契約締結について	齋藤松夫		議案第30号 桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		
議案第29号 平成29年度桑折町一般会計補正予算(第1号)			議案第31号 平成29年度桑折町一般会計補正予算(第2号)	渡邊英直 齋藤松夫	
発議第3号 有害鳥獣対策に万全を期すべきことを求める決議案			議案第32号 平成29年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)		
			発委第2号 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(案)		

※「報告」は採決なし

- 桑折**
 - ・ 人口が減少すれば町は衰退する。駅の反対側を宅地化しては。
 - ・ 4階建ての住宅を建設、ベッドタウン化し人口を増やす考えはないか。
 - ・ 道路標識、防火水槽、スクールゾーン等が剥げて見えない。町をきれいにする事も活性化、人口増になる。議会も検討すべきだ。
- 半田**
 - ・ 20年後の人口一万人は楽観的だ、努力とラッキー要素がなければ無理と思う。
 - ・ 人口が減り高齢化になれば納税額も減る、税収基盤が弱い、復興予算も減少し財政がきつくなる。10年後の人口、税収、国県からの負担金予測等、若い人達と話したい。
- 伊達崎**
 - ・ 現在イコーゼの維持費はどうなっているのか。町内会でやって欲しい事がたくさんあるが、町は予算がない。現状は儲かっているのか。



議会 研修報告



移動式 ～水素ステーション～

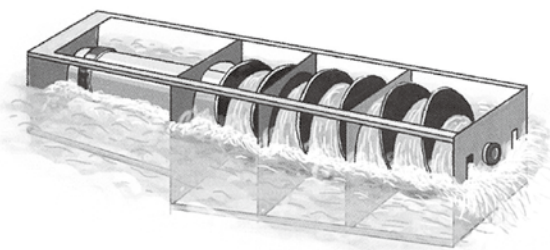
移住・定住で人口増

「再生可能エネルギー」の先進地

平成27年、原子力に頼らない安全なエネルギーをと「再生可能エネルギー推進の町」を宣言した。が、より具体的な進展も今だない。現在さまざまなエネルギーの開発が進むなか、本町に合ったエネルギーは何か。その導入の方向性や具体的取り組みを探るため、先進地を視察研修先に選んだ。

岐阜県

- ・八百津町：水素社会の実現を目指したプロジェクト
中山間地域における水素エネルギーを活用した自給自足型エネルギーシステムの構築について
- ・花白温泉：薪ボイラーと太陽熱温水器とのハイブリットによる熱供給システムについて
- ・豊田市：ふるさと水と土ふれあい事業
小水力発電・農業用水を利用した小水力発電導入事例
面の木風力発電施設



～農業用水を利用した小水力発電～

(渡邊英直) 水素をエネルギー源とする水素を活用する再エネビジョンに基づき地域資源を有効に活用しながら100%エネルギー自給自足の町づくりを将来像とした町である。地域資源である山林の荒れた状況の改善と温泉の復活に薪ボイラーを活用するという両方がうまく合致した事業展開だ。「防災拠点の発電装置として小水力発電が設置されている。地域交流の場に。」

(岩崎久男) 水素ステーションは大型コンテナ車にシステムが配備され、1台1億8千万円の事業費である。高額なため、将来に向けて更なる研究開発が必要であると考え。農業用水を利用した小水力発電は、費用対効果を考えれば、西根堰の用水を利用しての発電は、コスト面で厳しい事業と考える。

(佐藤武明) 八百津町の水素社会の実現では、「産地域資産の有効活用に向けたネットワーク」「官」自立分散型による防災力強化。「民」施設毎にエネルギー自給自足へと構築。各連携は参考になる。花白温泉の取り組みは、森林に囲まれた地域で「木の駅PJ」等で再建。豊田市の農業用水を利用した都市住民との交流の公園に小水力発電。

(斎藤 謙) 産官学での連携及び太陽エネルギーと木質バイオマスによる発電・熱利用を通じて、地球温暖化防止の寄与に取組んでいる。伐採木等を活用し薪ボイラーと太陽熱温水器活用による温泉旅館の維持管理に民間人が取組んでいる。地域通貨システムの導入も。視察地は山深く水も多く、小水力発電には適地であった。当町での取り組みは環境的に難しい。

(半澤 高) 八百津町が取り組んでいる「水素社会の実現を目指したプロジェクト」は、注目されている「水素」に関して産学官それぞれが協力することにより進められている。桑折町でも今後、水素エネルギーを取り入れるとするならば、同じように産学官の協力が必要であろう。

(羽根田八千代) 水素社会プロジェクト、

小水力発電事例は、産学官連携の技術支援や情報提供により実現した。小水力発電は西根堰等で活用できる事例であると感じた。「薪ボイラー」と「木の駅」の取り組み事例はうぶかの郷等で、有害鳥獣対策緩衝帯を整備した間伐材を利用する等活用できないものか。要はイターナー者と住民の熱意だった。

(片平秀雄) 本町と人口が類似する岐阜県

全国的に人口減、空き家問題を抱えている。そんな中でも移住・定住対策で若者家族が増えている。そのノウ・ハウを学ぶ。

・恵那市：移住・定住支援事業

(渡邊英直) 移住定住情報から、体験メニューを準備していること、また実際に移住定住推進事業で結婚から新生活の支援、その後の住まいを構える支援等その時々々の段階で有効な支援策が示されている。

(岩崎久男) 移住定住推進室を設置し、将来の人口目標を設定した点は評価。小学校が削減した地域は過疎化が加速、地域自体も危うくなっている。幅広く施策を講じた移住定住推進事業は、本町も参考にすべきと考える。

(佐藤武明) 恵那暮らしサポートセンターを開設、相談窓口、セミナー開催、地域の連携、空き家バンクの開設、情報提供のウェブサイトの活用等、多岐の取り組み。移住・定住への取り組みで大事なのは窓口の設置。

(斎藤 謙) 恵那市は婚活イベント・結婚相談応援事業等や住宅購入時の宅地購入費への補助、親との同居・近居時の住宅取得費への補助・定住促進奨励金・若者市内就

業促進事業等に取組み人口減少対策に努めている。

(齋藤松夫) 多くの小学校区が都市計画区域外にあることで、農振農用地区域を除けば、農家以外の住民も住宅建設が可能。都市計画法34条11号の活用に関する議論と施策の立案が急務であることを再認識する。

(佐藤榮三) 恵那暮らしサポートセンターが直接仲介するのではなく不動産業者を紹介して交渉、契約に進める方法は有効と思われる。入学児童数の確保に向けた計画への努力。移住定住事業の5項目に基づく事業推進は参考になる。

(川名静子) 恵那市の移住定住増は、安心してここに住みたい。決め手は「近所とのつながり」ではないかと感じた。地域のコミュニティを守るため地域も積極的に移住者に拘わること。本町も進めて欲しい。

(原 賢志) 恵那市の事業・補助内容は、各地域(学区)がバランスよく発展していく必要があるとの考えに沿ったもので、地域と一体となって対策に取り組む手法は、参考にすべきと感じた。

(半澤 高) 恵那市の魅力を発信するため岐阜県やふるさと回帰センターの協力も

(齋藤松夫) 花白温泉方式の「木の駅」立ち上げは困難。里山再生事業による薪確保・貯蔵体制が確立されれば、うぶかの郷への薪ボイラー導入も可能となると判断する。豊田市における小水力発電は、豊富な水量を活用しての事業。本町ではこのような条件は存在しない。よって本町は太陽光発電に的を絞る、諸施策を展開すべきと考える。

(佐藤榮三) 水素の活用は、地元大学・文科省・県等の支援、民間企業の協力を得た事業だが、先々の波及効果まで見越し計画立案すべきだ。薪の活用は間伐材の利活用には有効だが、供給する人の確保が大変だ。本町では桃等の剪定枝の活用ができれば野焼き防止と燃料確保の両面で効果が有る。小水力は、蓄電池の設置が必須条件、大学・企業の協力が必要だ。

(川名静子) 地球温暖化防止が叫ばれている中、水素は次世代に繋いでいくための未来型・夢のエネルギーだ。現在の本町の導入はコストから難しい。薪の活用は森林の整備も兼ねた地産地消事業になる。本町の「松くい虫の木も利用できれば。小水力発電は起こした電力の活かし方に課題はあるが、身近な目に見える再生可能なエネルギー学習の取り組みになる。

(原 賢志) 八百津町の取組は、産学官が連携した事業であり相手先として選ばれた自治体である。自治体主導で積極的に取組むには厳しいものがある。花白温泉の取組みについて、本町に於いては安定した木材の確保が難しいと感じた。豊田市の事例は、地域の活性化や交流人口の増加に繋げるべく親水公園に導入を検討すべきと感じた。

と、大都市圏(名古屋・大阪・東京)でセミナー等を開催し、移住希望者への情報提供を実施しているが、継続が重要と感じた。

(羽根田八千代) 多岐にわたる事業展開をし、女性職員2名と地域おこし協力隊2名で担当。検索しやすいHPだ。空き家バンクはタイムリーな情報提供で事業者へ公平な対応だ。本町も早期着手とHP充実で効果を。

(片平秀雄) 恵那市は移住・定住希望者に対しHPやパンフ等で、一目で分かる体制構築されている。特に市役所の各課各部署が共通の認識を持ちワンストップで対応が可。本町も役場業務等検討し見習うべきだ。

恵那暮らしサポートセンターの主な役割

- ① 移住相談
- ② 移住定住セミナー
- ③ 地域の団体との連携
- ④ 空き家バンク
- ⑤ 情報提供
- ⑥ 恵那暮らし体験

一部事務組合議会報告

◆一部事務組合とは …行政の能率化、効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

【伊達地方衛生処理組合】 選出議員 佐藤榮三・岩崎久男

去る3月29日平成29年度第1回定例会が開催され、条例改正1件、補正予算3件、当初予算3件、計7件が提出され、全て原案通り可決されました。主な概要は次の通りです。

【概要説明】 …29年度予算 (%は小数点第2位四捨五入)

「一般会計」 歳入歳出予算総額は、56,500千円(前年度比200千円、0.4%増)、主な内訳、歳入では組合分賦金55,752千円(前年度比406千円、0.7%増)、繰入金300千円、(前年度比▲200千円、▲40%減)、歳出では総務費55,300千円(前年度比400千円、0.7%増)です。

「し尿処理」 歳入歳出予算総額は、358,400千円(前年度比3,000千円、0.8%増)、主な内訳、歳入では組合分賦金313,912千円(前年度比9,184千円、2.9%増)、繰入金43,121千円、(前年度比▲6,113千円、▲14.2%減)、歳出では、衛生費181,089千円(前年度比3,106千円、1.7%増)です。

「ごみ処理」 歳入歳出予算総額は、358,400千円(前年度比3,000千円、0.8%増)、主な内訳、歳入では組合分賦金313,912千円(前年度比9,184千円、2.9%増)、繰入金43,121千円、(前年度比▲6,113千円、▲14.2%減)、歳出では、衛生費181,089千円(前年度比3,106千円、1.7%増)です。

【一般会計】 単位：千円

歳入					歳出				
区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率	区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率
分賦金	55,752	55,346	406	0.7%	議会費	1,000	1,000	0	0.0%
財産収入	1	1	0	0.0%	総務費	55,300	54,900	400	0.7%
繰入金	300	500	△ 200	△ 40.0%	予備費	200	400	△ 200	△ 50.0%
繰越金	400	400	0	0.0%					
諸収入	47	53	△ 6	△ 11.3%					
合計	56,500	56,300	200	0.4%	合計	56,500	56,300	200	0.4%

【し尿処理事業特別会計】 単位：千円

歳入					歳出				
区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率	区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率
分賦金	313,912	304,728	9,184	3.0%	議会費	181,089	177,983	3,106	1.7%
使用料・手数料	4	83	△ 79	△ 95.2%	基本費	38,159	38,265	△ 106	△ 0.3%
財産収入	14	26	△ 12	△ 46.2%	公債費	138,652	138,652	0	0.0%
繰入金	43,121	49,234	△ 6,113	△ 12.4%	予備費	500	500	0	0%
繰越金	500	500	0	0.0%					
諸収入	849	829	20	2.4%					
合計	358,400	355,400	3,000	0.8%	合計	358,400	355,400	3,000	0.8%

【ごみ処理事業特別会計】 単位：千円

歳入					歳出				
区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率	区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率
分賦金	316,817	315,989	828	0.3%	衛生費	482,025	4,143,226	△ 3,661,201	△ 88.4%
使用料・手数料	135,409	138,709	△ 3,300	△ 2.4%	災害復旧費	3,646,170	0	3,646,170	100.0%
国庫支出金	4,484	4,554	△ 70	△ 1.5%	基金費	8,368	640	7,728	1207.5%
県支出金	3,499,096	3,504,098	△ 5,002	△ 0.1%	公債費	53,437	63,634	△ 10,197	△ 16.0%
財産収入	49,155	49,843	△ 688	△ 1.4%	予備費	3,000	3,000	0	0.0%
繰入金	33,000	38,500	△ 5,500	△ 14.3%					
繰越金	3,000	3,000	0	0.0%					
諸収入	152,039	155,807	△ 3,768	△ 2.4%					
合計	4,193,000	4,210,500	△ 17,500	△ 0.4%	合計	4,193,000	4,210,500	△ 17,500	△ 0.4%

一部事務組合への平成29年度負担金予算額と前年度対比表 単位：千円

区分	内訳	平成29年度予算額	平成28年度予算額	増減額	増減率
伊達地方衛生処理組合	一般会計	6,481	6,302	179	2.8%
	し尿処理	28,039	23,512	4,527	19.3%
	ごみ処理	33,194	27,296	5,898	21.6%
	計	67,714	57,110	10,604	18.6%
公立藤田病院組合	特別交付税	16,500	21,459	△ 4,959	△ 23.1%
	一般会計	52,000	52,000	0	0.0%
	計	68,500	73,459	△ 4,959	△ 6.8%
伊達地方消防組合	一般会計	196,030	175,903	20,127	11.4%
合計		332,244	314,147	18,097	5.8%

【公立藤田病院組合】 選出議員 齋藤松夫・原 賢志・佐藤武朗・羽根田八千代

去る3月27日平成29年度第1回定例会が開催され、補正予算、当初予算が提出され、全て原案通り可決されました。主な概要は次の通りです。

【概要説明】 …29年度予算

「業務量」

	29年度	前年度	増減
病床数	311床	311床	0
うち一般	299床	299床	0
うち結核	12床	12床	0
年間患者数			
入院	91,615人	91,250人	565人
うち一般	90,520人	90,155人	365人
うち結核	1,095人	1,095人	0人
外来	159,900人	166,355人	△ 6,455人
一日平均患者数			
入院	251人	250人	1人
うち一般	248人	247人	1人
うち結核	3人	3人	0人
うち外来	650人	679人	△ 29人

「収益的収支」

収益的収支予算総額6,136,004千円で収支均衡予算。主な収入内訳は、医業収益5,697,639千円、前年度比89,711千円、1.6%増、医業外収益438,365千円、前年度比9,319千円、2.2%増となる。

「資本的収支」

資本的収支予算総額は、収入164,193千円、前年度比▲3,444千円減、支出505,183千円、前年度比17,183千円増、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額340,990千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんする。

【収益的収入及び支出】

【資本的収入及び支出】

単位：千円

収入					収入				
区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率	区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率
医業収益	5,697,639	5,607,928	89,711	1.6%	出資金	164,192	167,636	△ 3,444	△ 2.1%
医業外収益	438,365	429,046	9,319	2.2%	国庫補助金	1	1	0	0.0%
収益合計	6,136,004	6,036,974	99,030	1.6%	資本的収入計	164,193	167,637	△ 3,444	△ 2.1%
支出					支出				
区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率	区分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率
医業費用	6,018,677	5,913,408	105,269	1.8%	建設改良費	180,000	166,471	13,529	8.1%
医業外費用	112,524	116,406	△ 3,882	△ 3.3%	企業債償還金	325,183	321,529	3,654	1.1%
病院組合費	2,768	2,768	0	0.0%					
予備費	2,035	4,392	△ 2,357	△ 53.7%					
費用合計	6,136,004	6,036,974	99,030	1.6%	資本的支出計	505,183	488,000	17,183	3.5%

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額340,990千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんする。



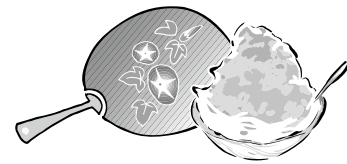
平成29年度 広報クリニックの結果は

全国町村議会議長会主催による研修に7月4日参加した。

この研修会には3年に一度、伊達地区から出席ができる。北海道、東北、関東地区から53の町村が参加し、3分科会に分かれ研修を積んだ後に広報誌のクリニックを受けた。本町は第2分科会、講師は「月刊総務」編集長の豊田健一氏。講師の着眼点は、「議会だより」を始めて手にし読む人の目線で理解ができるか、できないか、がチェックされた。慣れてしまった議会用語の指摘に「確かにこれでは」と大いに反省をした研修でした。さっそく今回の編集からアドバイスを取り入れました。更に「わかる、読まれる」議会だよりの編集に努めますので、ぜひ読んでいただきたい。

町村議会広報研修会 5/22

「もっと身近に、もっと読まれる議会広報紙づくり」と題し、広報アナリストの吉村潔氏から講演を受けた。これまでの結果中心の「お知らせ」広報から、「対話型」の住民とつながる広報へ変わるべき事。また、読みたくなる紙面づくりや内容など参考になる事が多かった。その後7町から依頼された広報紙のクリニックが行われ、良い点、工夫を要す点などの辛口コメントに、一喜一憂の研修だった。



一 般 会 計				
款	事業名	金額	翌年度繰越金	完成予定日
02総務費	町内会育成振興事業補助金(御免町集会所建設事業)	6,357,000円	6,357,000円	平成29年5月31日
02総務費	通知カード・個人番号カード発行業務	3,911,000円	950,000円	平成29年6月30日
03民生費	臨時福祉給付金等支給事業	49,856,000円	30,717,000円	平成29年8月31日
03民生費	既存高齢者施設等の防犯対策強化事業	594,000円	594,000円	平成29年9月30日
05農林水産業費	農業振興活動拠点施設整備事業	60,000,000円	60,000,000円	平成30年2月28日
05農林水産業費	ふくしま森林再生事業森林整備等業務	18,040,000円	18,040,000円	平成29年10月31日
06商工費	町観光資源PR写真・動画撮影業務委託事業	2,981,000円	2,981,000円	平成30年3月16日
07土木費	町道3100号(下郡上代)線道路改良事業	14,600,000円	8,563,000円	平成29年11月30日
07土木費	桑折町橋梁定期点検事業	60,000,000円	18,650,000円	平成29年11月30日
07土木費	災害公営住宅関連道路整備	5,000,000円	5,000,000円	平成29年8月31日
08消防費	放射性物質除染対策事業	28,000,000円	17,418,000円	平成29年5月31日
09教育費	桑折町ふれあい公園屋外ステージ設置事業	60,000,000円	60,000,000円	平成29年9月29日
合 計		309,339,000円	229,270,000円	

水 道 事 業				
款	事業名	金額	翌年度繰越金	完成予定日
1. 資本的支出	町道1172号線他一般国道115号相馬福島道路(霊山～福島)に伴う水道管代替工事	62,000,000円	62,000,000円	平成29年8月17日
合 計		62,000,000円	62,000,000円	

◆繰越明許とは
歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについては、予め議会の議決を経て、翌年度に繰り越して使用できる制度。

平成28年度 繰越明許費

【伊達地方消防組合】 選出議員 川名静子・渡邊英直

去る3月29日平成29年度第1回定例会が開催され、報告1件、補正予算1件、条例改正1件、当初予算が提出され、全て原案通り可決されました。主な概要は次の通りです。

単位：千円

区 分	歳 入				区 分	歳 出			
	H29年度予算	前年度	増減額	増減率		H29年度予算	前年度	増減額	増減率
分担金・負担金	1,545,300	1,418,000	127,300	9.0%	議会費	1,226	1,226	0	0.0%
使用料・手数料	640	523	117	22.4%	総務費	68,899	53,522	15,377	28.7%
財産収入	29	20	9	45.0%	消防費	1,311,958	1,457,283	△ 145,325	△ 10.0%
寄 附 金	1	1	0	0.0%	公債費	208,714	131,953	76,761	58.2%
繰 入 金	5,000	0	5,000	100.0%	予備費	3,203	3,016	187	6.2%
繰 越 金	3,000	3,000	0	0.0%					
諸 収 入	12,030	10,256	1,774	17.3%					
組 合 債	28,000	211,000	△ 183,000	△ 86.7%					
国庫支出金	0	4,200	△ 4,200	△ 100.0%					
合 計	1,594,000	1,647,000	△ 53,000	△ 3.2%	合 計	1,594,000	1,647,000	△ 53,000	△ 3.2%

【水道用水供給企業団】 選出議員 片平秀雄

【概要説明】…去る、平成29年2月20日、議案2件が提出され全て可決されました。

議案第1号 平成28年度水道用水供給事業会計補正予算 収益的収支の収入において、原子力損害賠償金の収入により営業外収益を24,482千円増額するとともに、支出において、給与改定により営業費用1,697千円を増額するものです。

議案第2号 収益的収入及び支出 平成29年度予算、収入は水道用水供給事業収益45億2,623万2千円、その内訳は営業収益の給水料金及び水料質検査手数料等。営業外収益は、預金利息、国庫補助金、長期前受金戻入等。になります。支出は水道用水供給事業費用47億3,827万4千円で、その内訳は営業費用(議会費から資産減耗費となる)なお、業務の予定量は年間総給水量39,440,300m³、一日平均給水量108,056m³となります。

資本的収入及び支出 資本的支出25億5,669万8千円、中央監視制御設備の更新、水質検査機器の更新等に係る事業費で、工事請負費、工具器具及び備品の購入費並びに企業債償還金等であります。資本的支出額に対し不足する額25億5,669万8千円は、過年度分損益勘定留保資金25億1,685万並びに過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,984万8千円で補てんするものです。

予定キャッシュフロー計算書 資金期末残高60億3,383万9千円

【収益的収入及び支出】

【資本的収入及び支出】

単位：千円

収 入					収 入				
区 分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率	区 分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率
水道用水供給事業収益	4,526,232	4,557,511	△ 31,279	△ 0.7%	資本的収入	0	593,641	△ 593,641	△ 100.0%
営 業 収 益	3,474,887	3,482,253	△ 7,366	△ 0.2%	負 担 金	0	593,641	△ 593,641	△ 100.0%
営 業 外 収 益	1,051,345	1,075,258	△ 23,913	△ 2.2%	固定資産売却代金	0	0	0	
支 出					支 出				
区 分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率	区 分	H29年度予算	前年度	増減額	増減率
水道用水供給事業費	4,738,274	4,899,851	△ 161,577	△ 3.3%	資本的支出	2,556,698	3,022,501	△ 465,803	△ 15.4%
営 業 費 用	4,208,572	4,321,424	△ 112,852	△ 2.6%	建設改良費	721,360	1,179,942	△ 458,582	△ 38.9%
営 業 外 費 用	529,602	578,327	△ 48,725	△ 8.4%	企業債償還金	1,835,238	1,842,459	△ 7,221	△ 0.4%
予 備 費	100	100	0	0.0%	予 備 費	100	100	0	0.0%

資本的支出額に対し不足する額25億5,669万8千円は、過年度分損益勘定留保資金25億1,685万並びに過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,984万8千円で補てんするものです。

年月日	活動状況	内容	出席者	
29	5 2	県町村議会議長会 理事・監事合同会議	優良町村議会並びに特別功労者及び自治功労者の決定について、平成29年度定期総会の開催について	議長
	8	産業厚生常任委員会	所管事務調査「道水路等の整備状況と計画について」	選出委員
	12	総務文教常任委員会	所管事務調査「健全財政について」「入札制度について」	選出委員
		平成29年度東根川広域基幹河川改修事業整備促進協議会総会	平成28年度事業経過報告及び収支決算報告、平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)、一級河川東根川広域基幹河川改修事業整備促進に関する決議(案)	議長 外
	15	議会全員協議会	議会報告会・意見交換会総括について、議会視察研修について	全議員
		平成29年度阿武隈川上流東北流域下水道促進協議会総会	平成28年度事業及び経過報告・歳入歳出決算 平成29年度事業計画(案)・歳入歳出予算(案)	議長 産厚委員長
	18	桑折町放射能対策推進町民会議第13回幹事会	平成28年度活動報告と平成29年度活動計画、第7回桑折町放射能対策推進町民会議について	議長 副議長
		伊達郡町村議会議長会 議長会議	平成28年度伊達郡町村議会議長会の歳入歳出決算、県町村議会議長会理事・監事合同会議結果報告、第12回伊達郡町議会議員大会、平成29年度町村議会議長・副議長研修会について	議長 副議長 事務局 局長
	19	第3回議会改革・活性化調査特別委員会	レポートの集約について、今後の進め方について	選出委員
		議会全員協議会	「有害鳥獣対策に万全を期すべきことを求める決議案」について	全議員
		政務調査会役員会	平成29年度総会について	議運委員
	22	県町村議会広報研修会	町村議会の広報委員研修会	議長 選出委員
	23	議会運営委員会	第2回臨時会議事日程等	選出委員
		議会全員協議会	第2回臨時会議事日程等、議案内容の説明 外	全議員
		第2回臨時会本会議	・桑折いきいきサポートセンター設置条例 ・桑折町税条例の一部を改正する条例 ・桑折町税特別措置条例の一部を改正する条例 ・東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例 ・東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例 ・桑折町若者交流拠点施設整備事業(屋根付屋外ステージ整備事業)工事請負契約締結について ・平成29年度桑折町一般会計補正予算(第1号) ・有害鳥獣対策に万全を期すべきことを求める決議案	全議員
	24	町議会議員視察研修	岐阜県加茂郡八百津町(八百津町議会) 岐阜県恵那市(恵那市議会、花白温泉) 愛知県豊田市(豊田市役所福武支所)	全議員
	25	政務調査会総会	平成28年度事業報告について、平成29年度事業計画(案)について	全議員
	29	例月出納検査	定例検査	選出委員
	31	第41回町村議会議長・副議長研修会	全国町村議会の議長・副議長研修会	議長 副議長 議長
6	2	県町村議会議長会 正副会長及び理事・監事合同会議	平成29年度定期総会の運営、任期満了に伴う役員の選挙について	議長
		県町村議会議長会 平成29年度定期総会	優良町村議会・特別功労者・自治功労者表彰、各地方町村議会議長会提出議題の審議、決議、会長・副会長・監事選挙	議長
		総務文教常任委員会	所管事務調査「健全財政について」「入札制度について」	選出委員
	5	産業厚生常任委員会	所管事務調査「道水路等の整備状況と計画について」について	選出委員
	8	第7回桑折町放射能対策推進町民会議	・平成28年度の活動経過及び平成29年度の活動計画について ・講演「持続可能なエネルギー社会をめざして」 講師 鈴木 精一氏(福島県再生可能エネルギー推進センター代表理事)	全議員
	9	議会全員協議会	現地調査(菅尻牧野、宮沢地区農業施設災害復旧現場、ふくしま森林再生事業、NPO桜植栽現場)、平成29年度議員視察研修総括、第12回伊達郡町議会議員大会、議員大会各町議会提出要望事項等、現地視察についての意見交換、セーフティチャレンジ事業実施について	全議員
	12	議会運営委員会	6月定例会議事日程等	選出委員
		第4回議会改革・活性化調査特別委員会	調査の進め方について	選出委員
	20	議会全員協議会	6月定例会(第1日)議事日程等、提案内容の説明(人事案件のみ)	全議員
		第3回定例会本会議	・一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件の説明 ・平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書、平成28年度水道事業会計予算繰越計算書についての報告 ・固定資産評価審査委員会委員の選任についての同意(2件) ・農業委員会委員に任命についての同意(10件)	全議員
		議会全員協議会	提案内容の説明	全議員
		総務文教常任委員会	陳情審査、陳情に基づく意見書作成、閉会中の所管事務調査申出事項の協議、	選出委員
		産業厚生常任委員会	委員会調査報告書の作成、閉会中の所管事務調査申出事項の協議、	選出委員
	21	議会全員協議会	6月定例会(第2日)議事日程等	全議員
		第3回定例会本会議	一般質問5名	全議員
	22	議会全員協議会	6月定例会(第3日)議事日程等	全議員
		第3回定例会本会議	一般質問5名	全議員
	26	議会全員協議会	6月定例会(第4日)議事日程等	全議員
		議会運営委員会	追加議事日程等	選出委員
		第3回定例会本会議	・事件撤回1件 ・福島地方土地開発公社の経営状況等報告 ・条例改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件審議採決 ・追加議案審議採決(陳情審査1件、意見書提出2件、決議1件、委員会調査報告1件)	全議員

お知らせ

**9月定例会は9月上旬、に開催予定です。
28年度の決算がメインになります。
ぜひ傍聴においで下さい。
また、「議会だより」秋号発行後に、議会報告会を予定しています。**

東日本大震災から6年が経過しました。平成23年度に創設された「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」は「被災児童生徒就学支援等事業交付金」となり3年目を迎えました。被災した子どもたちには、学校で学ぶための極めて有効な支援事業として機能しています。

この事業を通して、幼稚園児の就園支援、小中学生に対する学用品等の援助や通学支援(スクールバス運行による通学手段の確保にかかる経費を含む)、高校生に対する奨学金支援、特別支援学校等に在籍する児童生徒への就学奨励、私立学校及び専修学校・各種学校の授業料減免などが実施されています。学校現場からも事業の継続を強く望む声が届いています。

本事業の対象家庭は、全国47都道府県すべてに上ります。福島県では、平成28年10月時点で約2万人もの子どもたちが県内外で避難生活を送っています。(福島県こども・青少年政策課公表)また福島県だけでなく、宮城県、岩手県など広範囲の被災地でも、被災した多くの子どもの就学支援が行われています。経済的な支援を必要とする子どもたちは多く、今後も継続した支援が必要です。子どもたちの就学・修学のためには、長期的な支援がなくてはなりません。

「被災児童生徒就学支援等事業」による就学支援は非常に重要です。しかし、事業に係る予算措置は単年度のため、今後、本事業が終了若しくは規模が縮小することとなれば、自治体負担となり、被災児童生徒の就学支援に格差が生じることも危惧されます。平成30年度以降も本事業を継続し、必要な財政措置を行い、被災した子どもたちに継続した就学支援を実施できるようにする必要があります。

このような理由から、下記の事項の実現について、地方自治法第99条に基づき、意見書を提出します。

記

1. 東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、平成30年度以降も、全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。

平成29年6月26日
福島県伊達郡桑折町議会

復興大臣 吉野 正芳 殿
文部科学大臣 松野 博一 殿
総務大臣 高市 早苗 殿
財務大臣 麻生 太郎 殿

「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

議会活動状況報告 平成29年3月17日～平成29年6月26日

年月日	活動状況	内容	出席者	
29	3 17	議会広報委員会	議会だより春号の編集	選出委員
	22	議会広報委員会	議会だより春号の編集	選出委員
	23	議会全員協議会	町再生可能エネルギー導入推進計画に関する説明	全議員
		第2回役場庁舎建設調査特別委員会	役場庁舎建設に係る経過等について	選出委員
	24	例月出納検査	定例検査	選出委員
	27	議会広報委員会	議会だより春号の編集	選出委員
		公立藤田病院組合議会全員協議会	議事日程、議案内容等の説明	選出議員
		平成29年第1回公立藤田病院組合議会定例会	平成29年度公立藤田病院組合会計予算 外	選出議員
	28	第3回役場庁舎建設調査特別委員会	新庁舎建設基本構想(案)について	選出委員
	29	伊達地方消防組合議会全員協議会	議事日程、議案内容等の説明	選出議員
		平成29年第1回伊達地方消防組合議会定例会	伊達地方消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定、平成28年度伊達地方消防組合一般会計補正予算(第3号)、平成29年度伊達地方消防組合一般会計予算	選出議員
		伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	議事日程、議案内容等の説明	選出議員
		平成29年第1回伊達地方衛生処理組合議会定例会	伊達地方衛生処理組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定、平成28年度伊達地方衛生処理組合一般会計補正予算(第3号)、平成28年度伊達地方衛生処理組合し尿処理事業特別会計補正予算(第3号)、平成28年度伊達地方衛生処理組合ごみ処理事業特別会計補正予算(第4号)、平成29年度伊達地方衛生処理組合一般会計予算、平成29年度伊達地方衛生処理組合し尿処理事業特別会計予算、平成29年度伊達地方衛生処理組合ごみ処理事業特別会計予算	選出議員
	30	議会全員協議会	第1回(3月)定例会の総括、花の郷夢工房との町民会議総括について、議員研修について、議会報告会について	全議員
		議会広報委員会	議会だより春号の編集	選出委員
4	3	議会広報委員会	議会だより春号の編集	選出委員
	5	議会全員協議会	有害鳥獣防護柵の実施状況について、議会報告会について	全議員
	10	議会広報委員会	議会だより春号の編集	選出委員
		伊達郡町村議会議長会 議長会議	第12回伊達郡町議会議員大会について、平成29年度県町村議会議長会定期総会について 外	議長 副議長 事務局 局長
	13	産業厚生常任委員会	所管事務調査「産業振興策について」「道水路等の整備状況と計画について」「空き家・空き地について」	選出委員
		議会全員協議会	国保の広域化について、データヘルス計画について	全議員
		第4回役場庁舎建設調査特別委員会	新庁舎建設基本構想(案)について	選出委員
		第2回議会改革・活性化調査特別委員会	調査の進め方について	選出委員
	25	例月出納検査・現地監査	定例検査、平成28年度実施事業箇所現地確認	選出委員
	26	議会全員協議会	睦合、伊達崎、半田醸芳、旧幼稚園舎の調査について(現地調査)、桑折町空家等対策計画について	全議員
	27	議会全員協議会	『「蚕糸の桜」を残したい町民」からの陳情書に対する町の対応について、議会報告会について	全議員
		議会報告会	3月定例会報告・町民との意見交換	全議員

町の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集の参考にさせていただきます。

◎「議会だより」アンケートから

- 毎回読む 4名
- 時々読む 8名

「議会だより」を読んで気づいた点・要望など」

・ 努力は理解できるが、読んでもらう工夫が必要。内容をやわらかく。
(60代男性)

・ 他町村では交通量の多い国道沿いに多目的施設等を造るがなぜ本町は交通量のはるかに少ない県道沿いに造るのか疑問を感じる。
(60代男性)

・ 議員の方々はどんな活動をしているのか。また、一般質問の答えに対し再質問をしないようだが納得しているのか。
(60代男性)

・ 桑折町を住みやすく、生きやすくするため議員の皆様には努力してほしい。どんな細かい事でも町民に「議会だより」で発信して下さい。
(50代女性)

・ 言葉使いで外国語が多いとわからないのでは。
(60代男性)

からない。また、町の新しい地図帳があれば良い。

(50代女性)

・ 各議員が町を思い活動していること、実感した。さらに、町の未来を考えたもつとも今必要なことを、施策に反映させられる活動を望む。

(60代女性)

・ 日頃、町の運営に無関心であることに反省している。町の為日々課題に取り組んで下さり感謝です。安定した生活が続くようお願いしたい。
(70代女性)

◎議会傍聴から

・ 知りたい内容だった。ポイントをついているが、町の返答の本音は聞けなかった。誠意を持って答えて欲しい。また、町の賑わい、中心市街地の活性化は誰も答えていない。悲観的なものだ。さらに、議員の私語は慎むべき、緊張感がないのでは。
(60代男性)

編集後記

「……桃畑のおじさんに箱につめられ汽車ポッポー……」 (なつメロから)

県より24年連続「献上桃」の指定を受けた。農家が一個一個大事に育て出荷する。市場で値が付けられていく様子を見る機会を得た。「もうちょっと高く値を付けて！」と願い見守った。桑折のブランド「あかつき」から晩生種まで、市場では今年も大きな期待を持ち、入荷を待っていますよ。

川名 静子

まちの歳時記 ～暑い夏がきたぞ!～

東京青果で「桃」のセリが始まる



■広報委員会

委員長 川名 静子 委員 齊藤 謙
副委員長 渡邊 英直 委員 齋藤 松夫

議会だより

平成29年7月14日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片平 秀雄
編集 桑折町議会広報委員会
電話 (024) 582-2113
印刷 (株)神尾印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>